

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	マンホールポンプ維持管理事業					
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係	課長名	廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4	-	1	-
【施策名】 市街化の整備	総合計画書 (ページ)	83			

予算名	款 1	総務費	項 2	維持管理費	目 1	維持管理費	事業 <sup>13,15</sup>	委託料、工事請負費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	---------------------	-----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 マンホールポンプ。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 設置数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適切に汚水が排出される。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) マンホールポンプが使用できた日数
		③ そのために何をしましたか。 ①マンホールポンプの点検 ②マンホールポンプ制御盤の改修工事	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①年間の定期点検 ②マンホールポンプ制御盤の改修

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	基	8	8	8	/	/
		成果指標	②の数値	日	365	365	365	/	/
		目 標	②の目標値	日	365	365	365	/	/
			目標設定の考え方	生活に支障が出ないようにする。					
活動指標	③の数値	①回 ②基	①3 ②1	①3 ②1	①3 ②0	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	4,579,200	4,719,600	1,026,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	0	0	0	
			特定財源	円	4,579,200	4,719,600	1,026,000	
			(うち受益者負担)	円	0	0	0	
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.2	
			所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	1,648,800			
	職員人件費(再任用)	円						
	事業費+人件費	円	7,059,300	7,195,500	2,674,800			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 適切な維持管理等を行い、安全で快適な市民生活を確保する。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 マンホールポンプ数の増加

仕 事 の 内 容	マンホールポンプ維持管理事業			
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	なし			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	故障等による生活への影響が無いようにする必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	異物混入による閉塞を防ぐために、周辺住民にお知らせを配った。			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	閉塞による、汚水の吹き上がりを防ぐためにも周辺住民への継続的なマンホールポンプの啓発を行う必要がある。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	適切な維持管理と改築・修繕を継続していく。			
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	使用頻度や耐用年数、点検時の状態から、適切な改築・修繕を行う。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。